

# 新展示について

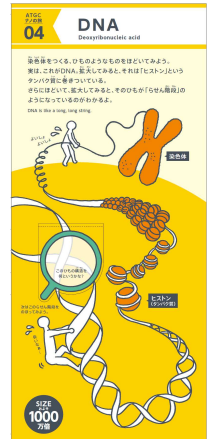
## 1 東北大学東北メディカル・メガバンク機構との連携展示「A T G C ナノの旅」

- (1) 開催期間 11月22日(金)から5年間(寄託展示)
- (2) 開展式 11月22日(金) 12:50~13:20  
出席者 東北メディカル・メガバンク機構長, 教育長ほか
- (3) 会場 生活系展示室(3階)
- (4) 展示内容

### ①解説パネル「自分の体をよく見てみよう」

細胞の核をイメージした円形の壁面に解説パネルを配置している。小さくなった旅人とともに体の中を探検しながら、細胞や核、遺伝子、DNAなどがどのようなものなのか知ることができる。各パネルには次の解説パネルに関連したクイズが設定されており、クイズに答えながら「A、T、G、C」とは人間にとってどんな意味を持つ文字なのかを探っていくようになっている。

また各パネルの間には、影絵風の「A T G C 人間」が会話をしており、ゲノムに関するさまざまな知識を紹介している。



解説パネル

### ②立体展示「わたしたちの体の中の60億文字」

コーナー中心には、人間の染色体一本分のゲノム量に相当するDNAの塩基配列(A T G Cの文字列)が書かれた長さ約5kmのロール紙をかたどった模型(円筒形に巻いたもの)を展示し、人間のゲノム量の膨大さを体感することができる。

### ③映像ゲーム「それぞれのゲノム、それぞれの薬」

「わたしたちの体の中の60億文字」の裏側には、大型タッチパネル式モニターを利用した体験型ゲームを設置している。画面上で、異なる人間それぞれのゲノムからできたタンパク質に型の異なる薬を投げつけて、弱ったタンパク質を治すゲームとなっている。



展示コーナー全体イメージ

※A T G Cとは…二重らせん構造であるDNAを構成する4種類の塩基の頭文字。この4文字の配列が生物の体をつくる「レシピ」となる。

ウインドノーツ

## 2 東北大学Windnautsとの連携展示「鳥人間コンテスト優勝機体」の復元

- (1) 展示準備(機体の復元)期間 11月末から約6ヶ月をかけて優勝機体を復元する予定
- (2) 作業場所 2階ホワイエ(特別展示室南側ホール), 3階エントランスホール等の館内施設
- (3) 作業の公開について

東北大学 Windnauts の学部3年生~大学院生有志30名により、週末を中心に復元作業を行う予定である。特殊な作業を除き、一般来館者に公開を行い、作業予定についてはホームページで告知していく。また、エントランスホールにて試験飛行の動画や作業公開のポスターを配置し機体復元の告知に努める。



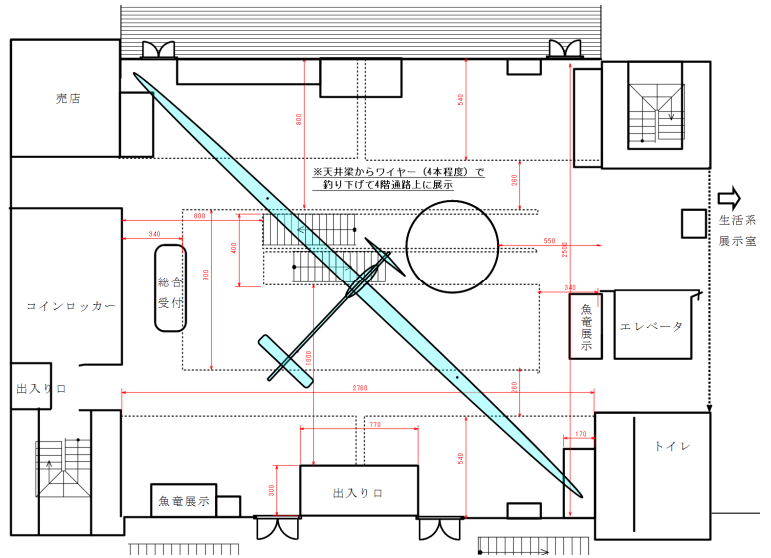
機体復元の作業現場(2階ホワイエ)

#### (4) 展示予定について

予算の目処が立った時点で、展示時期等を決定したい。展示場所はエントランスホール吹き抜け（4階通路）上部にワイヤーによる釣り下げを予定している。コンテストでの飛行動画や試験飛行、製作場面の動画とともに展示解説パネルで紹介を行う。また、機体の部材（主翼の断面や CFRP パイプ等）の展示も行いたい。



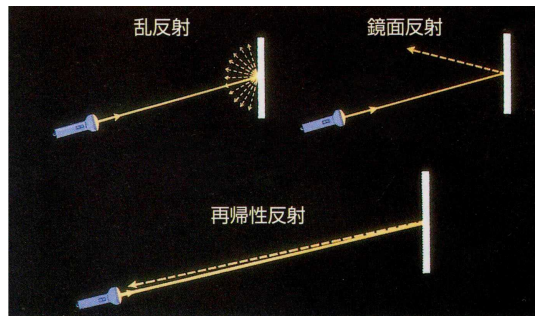
2012年鳥人間コンテスト優勝機「翠（すい）」



### 3 その他

#### (1) 住友スリーエムとの連携展示「小惑星探査機『はやぶさ』で使われたターゲットマーカー」

探査機「はやぶさ」がいとかわに着陸する際に重要な役割を果たしたターゲットマーカーについて、再帰性反射技術のしくみを体験できる装置と併せて展示を行う。平成 25 年度中に開催予定。



さまざまな反射の違い



展示イメージ

#### (2) 三菱化学との連携展示「有機薄膜太陽電池」

平成 26 年 2 月から実証実験を予定している有機薄膜太陽電池に関する展示を行う。（平成 25 年度特別展でも展示を行った。）平成 26 年 2 月に開催予定。

#### (3) 仙台高専（名取校）との連携展示「NHK ロボコン優勝ロボット」

2011 年に NHK ロボコンで優勝したロボットの展示の可能性を検討中。（3 階生活系展示室・ロボットコーナーでの可動型展示を想定）

#### (4) 被災ミュージアム再興事業展示「被災ミュージアムの再興に向けて（仮称）」

東日本大震災により被災した「歌津魚竜館」, 「おしかホエールランド」, 「マリパル女川」から救出され保管している資料を、東日本大震災や文化財の救済活動の概要とともに展示する。平成 26 年 3 月に開催予定。